

第7章 外国語活動

第1 指導計画の作成

1 指導計画作成の基本的な考え方

指導計画作成に当たっては、第5学年及び第6学年並びに中学校及び高等学校における指導との接続に留意しながら、外国語活動の目標や基本的な理念を踏まえて行うようにする。また、学年ごとの目標を適切に定め、2学年を通じて外国語活動の目標の実現が図れるように配慮する。

(1) 外国語活動の目標 (学 P154)

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(2) 外国語活動の基本的な理念 (ガイドブック基本編「小学校外国語教育(外国語活動・外国語)の基本理念」参照)

- ア 外国語を用いたコミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成
- イ 幅広い言語に関する能力の育成
- ウ 外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ

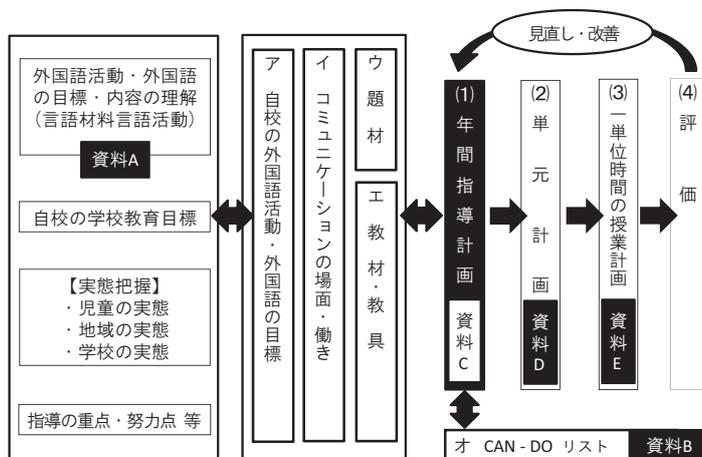
*ガイドブック：文部科学省「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」のこと。

2 指導計画作成の一般的な手順 (※資料Aと資料Bは第5章 第10節 外国語 の資料と対応している)

(1) 年間指導計画の立案 (編 P184～185 資料C)

(ガイドブック実践編「題材選定の仕方・教材の在り方」及び「年間指導計画の立案」参照)

年間指導計画を作成する際には、以下の点について留意する。



ア 自校の外国語活動の目標は、外国語活動の目標・内容(編 P150～152 資料A)を踏まえ、自校の学校教育目標、児童・地域・学校の実態に合わせ、指導の重点・努力点等を参考に設定する。

イ コミュニケーションの場面(挨拶、買い物、地域の行事等)やコミュニケーションの働き(気持ちを伝える、事実・情報を伝える等)を参考に活動を整理し、学校行事等に関連付けて学習できるように配列し、年間指導計画を作成する。

ウ 題材については、「児童の興味・関心」「他教科等の学習や学校行事等で扱う内容」「国際理解及び自国理解」との関連について留意し選定する。

エ 教材・教具については、テキストやその付属の絵カードやデジタル教材を活用するとともに、児童の意欲を喚起する実態に合った独自の教材の開発や工夫に努め、児童が主体的に学ぶ授業の充実を図る。

オ 外国語活動では、「聞くこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」の三領域について体験的に学ぶ。これら三領域別の目標と関連付けた学年毎の「学習到達目標」(CAN-DO リスト)(編 P153 資料B)を設定する場合は、体験的に学ぶことから「～する」の表現で作成する。

(2) 単元計画の立案 (編 P183,186 **資料D**)

(ガイドブック授業研究編I外国語活動「単元・授業構成上の留意点」(1)参照)

ゴール (本単元で目指す児童の姿) を明確にし、ゴールから逆算して、1時間ごとの目標を決め、活動を組み立てながら単元を構成していく (バックワード・デザイン)。

言語活動は「聞くこと」中心の活動から「話すこと」へ、段階的にゴールへ向かう構成とする。

(3) 1単位時間の授業計画 (編 P187 **資料E**)

(ガイドブック授業研究編I外国語活動「単元・授業構成上の留意点」(2)参照)

1単位時間の授業は、挨拶→ウォームアップ/導入/復習→中心となる活動→振り返り→挨拶が基本的な流れの例である。中心となる活動においては、「聞く活動」、「まねる活動」、「自ら発話する活動」へと段階的に組み立てるとよい。

(4) 評価

完成した年間指導計画は、学校行事や他教科等の学習内容または児童の発達の段階や興味・関心に応じて、見直しや修正を行う。

3 指導計画作成に当たっての留意すべき事項

(1) 「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童への指導」の視点 (解 P41, 42)

外国語活動における配慮として次のようなものが考えられる。

- ア 音声を聞き取ることが難しい場合、音声のリズムやイントネーションを、教師が手拍子を打つ、音の強弱を手を上下に動かして表す。
- イ 本時の活動の流れを黒板に記載する。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点 (解 P36~38)

単元など内容や時間のまとまりの中で、以下の視点で授業改善を進める。

- ア 主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てる、学習したことを振り返るなど、自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか。
- イ 対話によって自分の考えなどを広めたり深めたりする場面をどこに設定するか。
- ウ 児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか。

(3) 「教科等横断的」な視点 (ガイドブック授業研究編I外国語活動「授業研究の視点④」参照)

他教科等や学校行事で得た知識や体験を、外国語活動の学習の中で適切に生かすために、相互の関連について検討し、指導計画に位置付ける。

(4) 「社会に開かれた教育課程」の視点 (解 P42, 43)

学級担任の教師又は外国語を担当する教師が指導計画を作成し、授業を実施するに当たっては、ネイティブスピーカーや英語が堪能な地域人材などの協力を得る等、指導体制の充実を図るとともに、指導方法の工夫を行う。

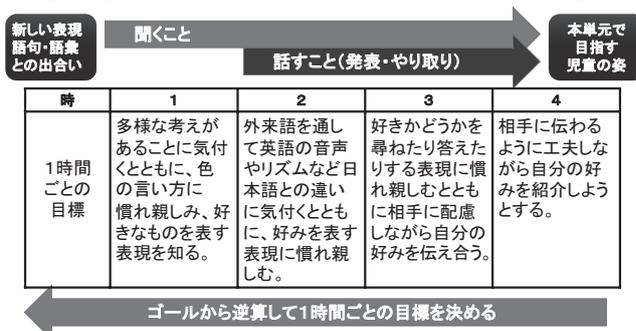
(5) 「道徳教育の充実」の視点 (解 P48, 49)

道徳教育の全体計画との関連、指導内容及び時期等に配慮し、両者が相互に効果を高め合うようにする。

(6) 「外国語教育充実」の視点

- ア 英語を初めて学習することに配慮し、簡単な語句や基本的な表現を用いながら、友達との関わりを大切にしたい体験的な言語活動を行う。
- イ 外国語や外国の文化のみならず、国語や我が国の文化についても理解を深めるようにする。
- ウ コミュニケーションを行う目的、場面、状況などを明確に設定し、児童が学習の見通しを立てたり、振り返ったりすることができるようにする。
- エ 児童にとって身近なコミュニケーションの場面を設定する。
- オ 教育機器などを有効活用し、児童の興味・関心をより高める。
- カ 言葉によらないコミュニケーション (ジェスチャーなど) の役割も理解させる。
- キ 文字については音声によるコミュニケーションを補助するものとして扱う。

【第3学年 Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう】



第2 指導計画作成のための資料

資料C 第3学年 外国語活動 年間指導計画 例

※吹き出しは「P181 3の指導計画作成に当たった際の留意すべき事項」と対応している
 ※は、繰り返し学習することと定着を図る表現
 ※主な活動例について…【L】聞くこと【S】話すこと（発音・やり取り）

時数	単元名	単元目標	主な活動例	表現例	新出語彙・語句例	既習表現・語彙例
1 2 単位 時間	Hello! あいさつをして 友達こなろう	<ul style="list-style-type: none"> 世界には様々な言語があることを知り、挨拶や名前の言い方に関心し、 名前を言ったり挨拶をする。 相手に伝わるように工夫しながら名前を言ったり挨拶を交わそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の様々な挨拶を聞く。【L】 自分の名前を伝えて挨拶をする。【S】 “Hello”の声を聞いて、誰が言ったのか尋ねる。【LS】 	Hello. I am… Are you…? Are you…?	Hello. I am… Are you…? Are you…?	
【3(6)】「外国語教育の充実」の視点 挨拶や自己紹介などの基本的な表現を使うことを通して、英語でやり取りすることの楽しさを感じさせたい。						
2 2 単位 時間	How are you? こさげんいのか	<ul style="list-style-type: none"> 表現やジェスチャーの大切さや表す意味の違いに気付き、感情や状態を表す表現に関心し、 表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら挨拶をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ジェスチャー等を交えて自分の様子や状態を伝える。【S】 相手の感情や様子を見て、それにふさわしい対応ができるようにする。【L】 絵や写真の人物を見て、どんな様子なのか表現する。【S】 	How are you? I am… Here you are. Thank you.	感情や様子を表す表現 fine, sleepy, happy good, hungry, tired, sad, great 等	Hello. I'm… See you. Good bye.
【3(6)】「外国語教育の充実」の視点 英語学習の初期の段階で、ICT 機器等を活用し、実際の表情やジェスチャーを見せることで、その役割を理解させる。						
3 4 単位 時間	How many…? 数えてあそぼう	<ul style="list-style-type: none"> 1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「21を言ったら負け」ゲーム。【S】 (ペアになって1人三つまで数字を言うことができる。21を言った方が負け)。 箱の中に怪しいボールを何個か入れて、いくつあるのか順番に答えて当てる。【LS】 	How many (apples) ? Ten apples. That's right.	many, 数 (1~21) marble, ball, pencil, eraser, ruler, crayon apple, strawberry, tomato, circle triangle, cross, stroke, yes, no, sorry pineapple, grape, peach, that, is, right	how, Hello. Hi. I'm Good bye. See you.
【3(6)】「外国語教育の充実」の視点 児童の表現は“How many apples?”とあるが、教師の発語は“How many apples are there?”のように、文で聞かせることで、高学年での外国語や中学校との接続を意識した活動となる。						
4 4 単位 時間	I like… 好きなものをつたえよう 編 P183, 186 資料D 編 P187 資料E	<ul style="list-style-type: none"> 多様な考え方があがることや、外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語の違いに気付き、色の言い方や好きかどうかを尋ねたり答えたりする語や表現に関心し、 自分の好みを伝え合う。 相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなもの(色など)について話したり、答えたりする。【LS】 レストランのメニューやスーパースタシを使って、好きなものを言ってみる。【S】 相手の好きなスポーツを尋ねたり、自分の好きなスポーツを伝えたりする。【LS】 	I like (blue). Do you like (blue) ? Yes, I do. / No, I don't. I don't like blue.	like, do, don't, 色 (red, blue, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown) 飲食物 (ice cream, pudding, milk, orange juice) 野菜 (onion, cucumber green pepper, carrot) who, touch, rainbow スポーツ (soccer, tennis, baseball, swimming, basketball,)	Hello. Hi. I'm Good bye. See you.
【3(6)】「外国語教育の充実」の視点 相手意識をもって伝えることが重要 Aさん “I like soccer.” Bさん (Aさんを見て、「君はサッカーが好きなんだ」という思いを込めて) “You like soccer. I like badminton.”						
【3(6)】「外国語教育の充実」の視点 教師が発語する際は、高学年や中学校との接続を考え、複数の表現が必要な場合は複数形を使って聞かせていきたい。 例 oranges, grapes, bananas						

資料C

第4学年 外国語活動 年間指導計画 例

※吹き出しは「P183の指導計画作成に当たった際の留意すべき事項」と対応している
 ※は、繰り返し学習することによって定着を図る表現
 ※は、繰り返し学習することによって定着を図る表現

時数	単元名	単元目標	主な活動例	表現例	新出語彙・語句例	既習表現・語彙例
1 2 時間	Hello, world! 世界のいろいろなことば であいさつをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 様々な挨拶の仕方があることに気付くとともに、様々な挨拶の言い方に慣れ親しむ。 友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界のどの国の挨拶かを考える。【L】 世界の挨拶の文字を見て、どの国の文字なのか予想する。 友達に好きなものなどを伝えたりして挨拶をする。【LS】 	<p>Hello.</p> <p>Good morning/afternoon.</p> <p>I like….</p> <p>Goodbye. See you.</p>	<p>morning, afternoon, world</p>	<p>Hello. I'm….</p> <p>How are you? / I'm….</p> <p>I like….. Do you like…?.</p> <p>Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>Goodbye. See you.</p> <p>気持ちを表す語、色、飲食物 数 (1-30)、スポーツ、動物、野菜</p>
2 4 時間	Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> 様々な動作や遊びの言い方や、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。 相手に配慮しながら友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。 天気に合わせて遊びを決めたり提案したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> Simon says game. 【L】 (先生や友達と言った動作を聞き取り、まねをするゲーム) 世界の天気をみんなですすめる。【S】 天気とその天気に合わせた服装を結びつけて考える。【L】 	<p>How is the weather?</p> <p>It's sunny/rainy/cloudy/snowy.</p> <p>Let's ….</p> <p>Stand up. / Sit down.</p> <p>Stop. / Walk.</p> <p>Jump. / Run.</p> <p>Turn around.</p> <p>Touch your head.</p>	<p>動作 (stand up, sit down, jump, turn, walk, run, look, put) up, down, on, around, right, left, lets, play, hand, leg, outside, inside, 遊び (tag, jump rope, bingo, game) 衣類 (T-shirt, shorts, sweater, pants, raincoat, rain boots, gloves, boots)</p>	<p>I like….. Do you like…?.</p> <p>Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>What sport do you like?</p> <p>Goodbye. See you.</p> <p>体の部位、色、動物、飲食物、スポーツ</p>
3 3 時間	I like Mondays. 好きな曜日は何かな?	<ul style="list-style-type: none"> 曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 相手に配慮しながら自分の好きな曜日を伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> カレンダーを使って、自分の誕生日が何曜日か言ってみる。【S】 ある曜日の時間を聞いて、それが何曜日なのかを当てる。【L】 曜日によって放課後にすることを伝え合う。【LS】 	<p>What day is it?</p> <p>It's (Monday).</p> <p>Do you like Mondays?</p> <p>Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>I like Mondays.</p> <p>Who likes Mondays?</p>	<p>day, 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)</p> <p>野菜 (mushroom, watermelon)</p> <p>飲食物 (soup, pie, sandwich) fresh</p>	<p>I like….</p> <p>Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>What sport do you like?</p> <p>it, is, 色, 動物, 飲食物, スポーツ</p>
4 4 時間	Do you have a pen? おすずめの文房具セットをつくらう	<ul style="list-style-type: none"> 文房具など学校で使う物や、持ち物を探ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 文房具などの持ち物について尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手に配慮しながら文房具などの持ち物について尋ねたり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家にあるものを伝え合う。【US】 筆箱の中身の持ち物チェック。【LS】 カードを一枚持って、自分のカードとあったカードを持っているか伝え合う。【LS】 	<p>Do you have a pen?</p> <p>Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>I [have / don't have] (a pen).</p> <p>This is for you.</p>	<p>have,</p> <p>文房具 (glue, stick, scissors, pen, stapler, marker, pencil, sharpener, pencil case)</p> <p>身の回りの物 (desk, chair, clock, calendar)</p>	<p>Do you like…?.</p> <p>How many…?.</p> <p>Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>What sport do you like?</p> <p>形、色、スポーツ、動物、飲食物</p>

【3(6)】「外国語教育の充実」の視点
 ピクチャーカードを使った学習では、「touch something red.」のような指示をすることで、既習の「色」の表現について振り返り、理解を深める。

【3(6)】「外国語教育の充実」の視点
 曜日の表現は他の単元でも繰り返し丁寧に聞かせることで、高学年や中学校での外国語との接続を図る。
 例 “Today is Tuesday. Do you have a science textbook?” のように、次の単元の “Do you have…? ” の表現でも繰り返し扱うことができる。

【3(6)】「外国語教育の充実」の視点
 ねらいを明確にするため、単元のなかで「動作の表現に慣れ親しむ活動」と「天気の表現に慣れ親しむ活動」の学習内容を各時間の活動で分けて行う。

【3(2)】「主体的・対話的で深い学び」の視点
 児童にとつて、曜日を話題にするのは「どんなときなのか」ということを想定して活動内容を設定することで、実際に英語を用いて気持ちを伝え合うような場面設定を取り入れる。

【3(2)】「主体的・対話的で深い学び」の視点
 野球のボールが描かれたカードを持った児童が“I have a ball. Do you have a bat?”と尋ねて、そのカードにあったカードを持っている人を探す活動を設定した。相手の持ち物を知りたい、という思いをもちながら、主体的に取り組ませる。

【3(6)】「外国語教育の充実」の視点
 3年生で学習した「色や形の表現」を使って、“Do you have a red pencil?”などの表現に、繰り返し慣れ親しませる。

5 4 単位 時間	Alphabet アルファベットで文字 遊びをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付くとともに、活字体の小文字を識別し、文字の読み方に慣れ親しむ。 アルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの文字をヒントに単語当てクイズをする。 	Look, what's this? Hint, please. That's right. Sorry, try again.	小文字(α-z) letter, try again, a.m., p.m., bookstore, coffee, closed, donut, exit, juice, news, off, open, police, post, popcorn, restaurant, sale, taxi, telephone	What's this? How many(apples) Do you have...? Yes, I do. /No, I don't. I [have/don't have] a pen. That's right. Sorry, up, down, left, right, look 数 (1-60) 大文字 (A-Z)
6 4 単位 時間	What time is it? 今、何時	<ul style="list-style-type: none"> 時刻や生活時間の言い方や尋ね方について慣れ親しむ。 自分の好きな時間について尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手に配慮しながら、自分の好きな時間について尋ねたり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> イラストなどを参考に1日の生活の中で自分の好きな時間を伝え合う。【LS】 時間のメモリを入れた円グラフをもとに自分がその時間していることを伝え合う。【LS】 学校の近くにあるお店の開店時刻や閉店時刻を予想してみる。【L】 	What time is it? It's 8:30. It's homework time. How about you?	time, 数字 (40,50,60), about, 生活時間(wake up time, breakfast time, study time, lunch time, snack time, dinner time, homework time, bath time, bed time, dream time)	I like... what, is, it, 数 (1-30), スポーツ, 曜日
7 5 単位 時間	What do you want? ほしいものは何か?	<ul style="list-style-type: none"> 食材の言い方や欲しいものを尋ねたり、要求したりする表現に慣れ親しむ。 欲しい食材などを尋ねたり要求したり考えたメニューを紹介する。 自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に勧めたいオリジナルメニューを作るために、買い物の場面で必要な食材についてやり取りをする。【LS】 自分の家にあったらいいものをお互いに伝え合う。【LS】 	What do you want? I want (potatoes), please. How many...? Here you are. Thank you.	野菜 (potato, cabbage, corn) cherry, meat, pork, want,	What's this? How many...? Do you have...? Do you like...? Yes, I do. /No, I don't. 野菜、果物、飲食物、数(1-60)
8 4 単位 時間	This is my favorite place. お気に入りの場所をしようかいしよう	<ul style="list-style-type: none"> 世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに教科名や教室名の使い方に慣れ親しむ。 自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について自分の考えを伝え合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真を見せて、それはどの教室なのか当てたり、その場所がどこにあるのかを伝えたりする。【LS】 自分が気に入っている校内の場所についてイラストや写真を参考に自分の考えを伝えたり、その場所まで案内したりする。【S】 	Go straight. Turn (right / left) Stop. This is (the music room). This is my favorite place. Why? I like music.	favorite, place, my, our, why, 学校、教室 (school, science, music, cooking, arts and crafts, gym, playground, principal's office, school nurse's office, entrance, library, teachers' office, school office, classroom, computer room, girls' room, boys' room) straight, teacher, boy, girl.	This is for you. I like... Do you like...? Yes, I do. /No, I don't. turn, right, left, スポーツ, 曜日
9 5 単位 時間	This is my day. ぼく、わたしの一日	<ul style="list-style-type: none"> 世界の子供たちの生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、日課を表す表現に慣れ親しむ。 絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせの中で聞いた、簡単な語句や基本的表現が表す内容をイラストなどで結び付ける。【L】 話の筋に合わせて、気に入ったページをグループで発表する。【S】 	I wake up (at 6:00) I eat breakfast (at 7:00). I go to school. I go home. I take a bath.	日課 (wash my face, go to school, go home, brush my teeth, put away my futon, have breakfast, check my school bag, leave my house, take out the garbage, take a bath, do my homework.)	What time is it? It's (8:30). I, you, up, go, do, a 数 (1-60) 動作, 曜日, 時間

小文字への慣れ親しみの活動を各単元のなかに組み込むことで、文字の認識と理解を段階的に深めていく。

【3(6)】「外国語教育の充実」の視点
教師が児童に尋ねるときに、3年生で学習した「How many...?」の表現を使って「How many apples do you want?」のような表現を意識的に使用することで、高学年・中学校での英語学習への連続を図る。

【3(2)】「主体的・対話的で深い学び」の視点
黒板に家の絵を一つ描いて「This is your house. What do you want?」と尋ねて欲しいものを伝え合うなど、「自分なら何が欲しいか」ということを互いに伝え合うことで、相手の考え方を学んだり、自分の考えを伝えたりする。

【3(5)】「情報教育の充実」の視点
ICT機器等を活用し、世界の子供たちの様子に触れ、その多様性に気付かせる機会とする。

【3(6)】「外国語教育の充実」の視点
単元6「What time is it?」の単元との関連を意識して、繰り返し慣れ親しませる活動を工夫する。

資料D 単元計画（4時間）

※ 吹き出しは、「P181 3の指導計画作成にあたっての留意すべき事項」と対応している（※編P181 右上(2)単元計画の立案図参照）

時	目標(◆)と主な活動（【 】、○）＊【 】＝誌面化されている活動	◎評価<方法>
1	<p>◆多様な考え方があることに気付くとともに、色の言い方に慣れ親しみ、好きなものを表す表現を知る。</p> <p>○Hello Song 【Activity】自分のにじをかこう“My Rainbow” ・誌面に好きな色を塗り、自分の虹を完成させる。 【Let's Watch and Think①】 ・映像資料を視聴し、世界の子供たちの虹の絵を見て、それぞれの違いに気付く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【3(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点</p> <p>視聴する前に、国の特徴、国旗などからその国の子供たちの虹を自分なりに想像しながら活動に取り組む。また、その考えを他者に広げたり、他者の考えを知り、自分の考えを広げたりする。</p> </div> <p>○シャッフル・ゲーム ○好きな色を教える ・指導者が、自分の好きな色を挙げるなどして児童にも発話を促し、好きなものを表す表現に出合わせる。 【Let's Listen①】 ・誰が何色を好きか聞いて線で結ぶ。 【Let's Chant】 I like blue.(①色編) ○Goodbye Song</p>	<p>◎多様な考え方があることに気付いている。(行動観察、振り返りカード分析)</p> <p>◎色を聞いたり言ったりしている。(行動観察、振り返りカード点検)</p>
2	<p>◆外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付くとともに、好みを表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>○Hello Song 【Let's Sing】 The Rainbow Song</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【3(6)「外国語教育の充実」の視点</p> <p>1時間の中で長く教えるのではなく、少しの時間でも単元を通して何度も繰り返し、毎時間、聞かせることで、児童に外国語特有の音声やリズムに慣れ親しませる。</p> </div> <p>○カラー・タッチ・ゲーム ○先生の好きなものとそうでないものについて話し、児童が I [like/don't like] ～.の意味を分かるようにする。 【Let's Listen②】 ・音声を聞いて登場人物の好きなスポーツや、そうでないスポーツの番号を書く。 ○Who am I? ・好きなものとそうでないものをヒントとして聞かせ、校内の先生の誰かを当てさせる。 【Let's Chant】 I like blue.(②スポーツ編) ○カード・デスティニー・ゲーム ○Goodbye Song</p>	<p>◎英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付いている。(行動観察、振り返りカード分析)</p> <p>◎好みを表す表現を聞いたり言ったりしている。(行動観察、振り返りカード点検)</p>
3	～誌面の都合上、省略～	
4	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介しようとする。</p> <p>○Hello Song 【Let's Sing】 The Rainbow Song 【Let's Chant】 I like blue.(①～③)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【3(4)「社会に開かれた教育課程」の視点</p> <p>地域の人やゲストティーチャーにも自己紹介するなど、話し手としての意識を高める。</p> </div> <p>【Activity】 ・自己紹介シートを作成し、自分の好みを交えて自己紹介し合う。 ○Goodbye Song</p>	<p>◎相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介している。(行動観察、ワークシート・振り返りカード点検)</p>

資料E 指導案1 / 4 (1単位時間の計画)

目標 多様な考え方があることに気付くとともに、色の言い方に慣れ親しみ、好きなものを表す表現を知る。

○本時の展開 (1/4) ※ 吹き出しは、「P181 3の指導計画作成にあたっての留意すべき事項」と対応している

時間	児童の活動 *【 】=誌面化されている活動	指導者活動と使用英語例 ◎評価<方法>
2分	挨拶をする。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。
3分	○Hello Song	・児童と一緒に歌う。
10分	<p>【Activity】 自分のにじをかこう “My Rainbow”</p> <p>【3(3)「教科等横断的」な視点 国際理解教育の学習内容を横断的に利用しながら、児童に世界での色の捉え方や色の特徴などの情報を与え、より深い学びを目指す。【情報活用能力】</p>	<p>【3(1)「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童への指導」の視点</p> <p>① 挨拶(Hello Song) ② チャンツ又は歌 ③ Activity 1 ④ Activity 2 ⑤ 振り返り ⑥ 挨拶(Goodbye Song) その日の授業の流れを、メニューのようにあらかじめ提示しておくことも効果的である。</p>
5分	<p>【Let's Watch and Think①】 ・映像資料で、世界の子供たちが虹を描く様子などを観察し、自分たちの作品との相違点や共通点に気付く。</p>	<p>・海外ではどんな虹が見えるかなど、児童の興味・関心を高めながら映像資料の視聴につなげ、自分たちの作品との違いや共通点に気付くよう言葉かけをする。 ◎多様な考え方があることに気付いている。 (行動観察、振り返りカード分析)</p>
<p>【3(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点 視聴する前に、国の特徴、国旗などからその国の子供たちの虹を自分なりに想像しながら活動に取り組む。また、その考えを他者に広げたり、他者の考えを知り、自分の考えを広げたりする。</p> <p style="text-align: center;">~埼玉県『主体的・対話的で深い学びの実現 6則』より~</p> <p style="text-align: center;">ペアやグループ活動を通して互いに学び合い、他者と協働することによって、自分だけの学習では深められない多様な見方・考え方を学ぶ。</p>		
5分	<p>○シャッフル・ゲーム ・指導者とともに色を確認する。 ・指導者が指したカードが何色か当てる。</p>	<p>・シャッフル・カードをすることを告げる。児童が描いた虹の色の中から4枚程度を黒板に貼りながら、カードの色を児童と確認する。 ◎色を聞いたり言ったりしている。(行動観察、振り返りカード点検)</p>
5分	<p>○好きな色を教える ・指導者の話を聞いて、好きなものを表す表現を知る。 ・指導者の質問などに応じて、色を言う。</p>	<p>・黒板にほかの色も加え、言い方を確認する。 ・自身の洋服などの色を指し示しながら、What color is this? I like ~. と好きな色を言い、好きなものを表す表現に出合わせる。黒板の色カードを指しながら児童に I like ~. Yes? No? などと投げかけ、発話を促す。児童の答えに応じて、児童を指して You like ~. 自身を指して I like ~. と何度も繰り返して言い、児童に I like ~. You like ~. の表現を何度も聞かせるようにする。</p>
4分	<p>【Let's Listen ①】 ・誰が何色を好きかを聞いて線で結ぶ。</p>	<p>・何色が好きかを予想させ、それを確かめるために音声を聞かせるようにする。</p>
4分	<p>【Let's Chant】 I like blue. (①色編)</p>	<p>・児童と一緒に言う。</p>
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p>
<p>【3(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点 学習の終わりには、自分自身の学習の成果を振り返り、自身の変容を自覚できるようにする。</p> <p style="text-align: center;">~埼玉県『主体的・対話的で深い学びの実現 6則』より~</p> <p style="text-align: center;">「何ができるようになるか」、教員は子供たちの変容(伸び)を見取ること。外国語活動なので技能面に偏ることなく、児童の主体性の面も肯定的に自己評価させる。</p>		
2分	○Goodbye Song	・児童と一緒に歌う。